

UTCP

中期教育プログラム中間報告会

「多層・多様・多元」に向けて

2009年2月18日（水曜日）

東京大学駒場キャンパス 18号館コラボレーションルーム 3

14時30分から18時45分まで

1. 「脳科学と倫理」

吉田敬 「認知的エンハンスメントと公平性」
中尾麻伊香 「M. ハウザーにおける進化理論と道徳性」
総括：信原幸弘

2. 「時代と無意識」

桑田光平 「ロラン・バルトにおける回帰する眼差し」
森田團 「終末論の本質——ヤコブ・タウベスから出発して」

3. 「哲学としての現代中国」

——東アジアにおける国家の諸相——

井戸美里 「中世美術と国家の境界性」
宇野瑞木 「東アジアの国家と孝」
喬志航 「国家と無国家」
高榮蘭 「〈国家〉をめぐる暴力の記憶
——2000年代の日本語小説を手がかりに」

4. 「世俗化・宗教・国家」

——回顧と展望——

諫早庸一 「年間活動報告・総括」
内藤まりこ・澤井一彰 「来年度活動予定」